

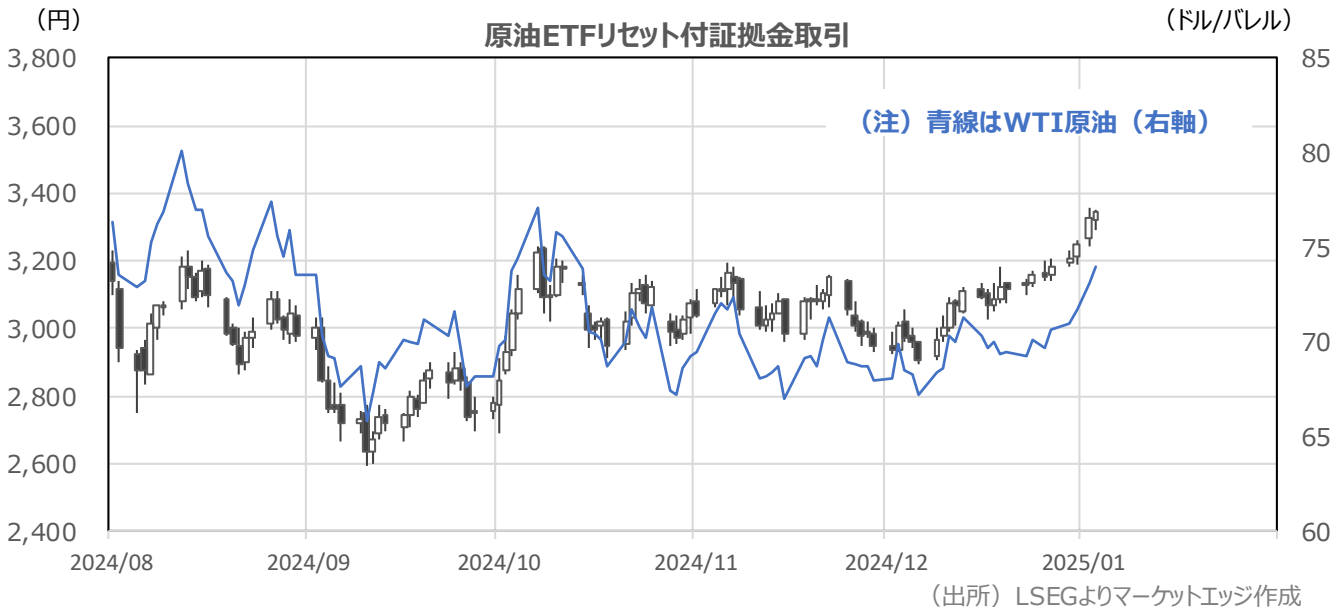
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/01/06号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



2カ月半ぶり高値、年末年始で安値修正が進む

NY原油先物相場は、1バレル=74ドル水準まで切り返す展開になった。年末年始を挟んで安値修正の動きが強まり、70ドル台前半にコアレンジを切り上げる展開になった。中国で景気刺激策を巡る議論が活発化していることを受けて、中国の石油需要環境に対する信頼感が高まったことが、原油相場を押し上げる動きに直結した。また、年末年始もウクライナと中東で激しい戦闘状態が続いたこともポジティブ。昨年10月14日以来の高値を更新している。

中国国営メディア新華社通信は12月31日、習近平国家主席が「より積極的で有効なマクロ政策を実施し、経済の持続的な回復と好転を促す」と述べたと報じた。また、2024年の「5%前後」の成長目標を達成するとの見通しも示されている。中国が景気対策による成長支援の姿勢を鮮明にしていることが、原油市場では好感されている。年初の中国市場では、鉄鉱石や石炭、天然ゴム相場などが中国経済の減速懸念から大きく売られており、ロンドン非鉄金属相場も上値の重さが目立った。他コモディティ市場では、中国経済の減速懸念を織り込む動きが優勢になっている。しかし、原油市場ではファンドの物色意欲が強まり、戻り高値更新からチャート主導の買い圧力の強さも目立つ展開になった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

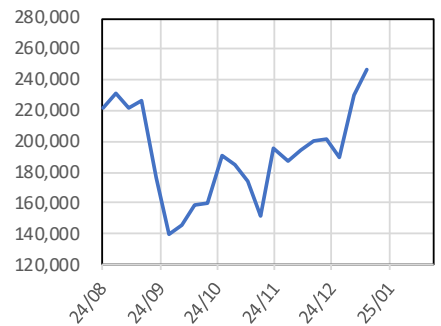
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

【展望】

70ドル台中盤には過熱感が強い、上昇余地は限定的か

年末年始で改めて70ドル台中盤まで切り返す展開になったが、先高感の形成は難しい。中国経済が底割れに向かうリスクは後退するも、石油需要見通しの大幅な改善は難しい。経済成長鈍化に加えて、電気自動車（EV）の普及など構造的な変化もあり中国の石油需要見通しが上振れする余地は乏しい。このため、70ドル台から相場水準を大きく切り上げていくのが難しい状況に変化は生じない見通し。2025年は年間を通じて供給過剰傾向が強い環境が想定されている。

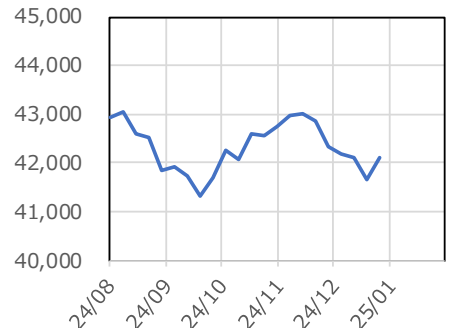
(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

チャートは昨年10月下旬以降のボックスをブレイクしたことで、同10月8日の78.46ドルまで上値抵抗は切り上がるが、イスラエルとイランの軍事衝突が発生した時の価格水準に近付いていることには、過熱感が否めない。短期トレンドは年末年始で上向きになっているが、先高感の形成は難しい価格水準になっている。短期筋の買いが一巡すると、改めて需給緩和見通しが上値を圧迫する形で、70ドル割れを打診する方向性になる。

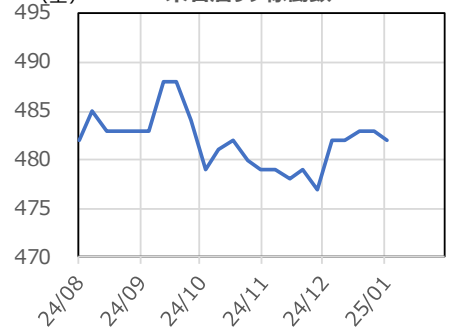
(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

特に大きなイベントなどは予定されていないが、昨年末にかけては米原油在庫の取り崩しが進んだことも、原油相場が安値から切り返す一因になった。年明け後も原油在庫の減少傾向が続いた場合には、上振れリスクが高まる。新規売買材料が乏しいだけに、米石油在庫統計には注意が必要。

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

引き続きウクライナや中東情勢には注意が必要。年末年始も激しい戦闘が続いている。ウクライナのロシア石油施設に対する攻撃も報告されている。1月20日にトランプ米大統領の就任式を控えていることもあり、地政学リスクの高まりが原油相場を押し上げるリスクには注意が求められる環境が続く見通し。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

